

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2004-532885 (P2004-532885A)
 【公表日】平成 16 年 10 月 28 日 (2004.10.28)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-042
 【出願番号】特願 2003-501497 (P2003-501497)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/395 F

A 6 1 K 39/395 U

A 6 1 P 27/02

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 5 月 12 日 (2005.5.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ガンマイインターフェロンに対する抗体を含んでなり、哺乳動物の眼に投与されることを特徴とする、哺乳動物における眼に関連する組織または器官移植の拒絶反応の処置用製薬学的組成物。

【請求項 2】

該組成物が該眼に局所投与される、請求項 1 の製薬学的組成物。

【請求項 3】

該哺乳動物が人間である、請求項 1 の製薬学的組成物。

【請求項 4】

該移植が角膜移植である、請求項 1 の製薬学的組成物。

【請求項 5】

該抗体がポリクローナル抗体である、請求項 1 の製薬学的組成物。

【請求項 6】

該抗体がモノクローナル抗体である、請求項 1 の製薬学的組成物。

【請求項 7】

該抗体がヒト化された抗体である、請求項 1 の製薬学的組成物。

【請求項 8】

該抗体がインターフェロンガンマに対する抗体の生物学的に活性な断片である、請求項 1 の製薬学的組成物。

【請求項 9】

該組成物が製薬学的に許容可能な担体中に懸濁されている、請求項 1 の製薬学的組成物。